CTI サービスの設定

- CTI サービス ワークフローの設定，1 ページ
- CTI サービスを追加する，1 ページ

CTI サービス ワークフローの設定

CTI サービスは、Jabber に UDS デバイス サービスの場所を提供します。UDS デバイス サービスは、たとえばソフトフォンやデスクフォン デバイスなどの、ユーザに関連付けられているデバイスのリストを Jabber に提供します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	CTI サービスを追加する，（1 ページ）	Jabber に CTI サービスの場所を提供する CTI UC サービスを作成します。
ステップ 2	CTI サービスの適用，（2 ページ）	サービス プロファイルに CTI UC サービスを適用します。

CTI サービスを追加する

CTI サービスは、Jabber に UDS デバイス サービスのアドレスを提供します。UDS デバイス サービスは、ユーザに関連付けられているデバイスのリストを提供します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [ユーザ管理（User Management）] > [ユーザ設定（User Settings）] > [UC サービス（UC Service）] を選択します。
[UC サービスの検索と一覧表示（Find and List UC Services）] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [新規追加（Add New）] を選択します。
[UC サービスの設定（UC Service Configuration）] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [UC サービスの追加（Add a UC Service）] セクションで、[UC サービス タイプ（UC Service Type）] ドロップダウン リストから [CTI] を選択します。

ステップ 5 [次へ（Next）] を選択します。

ステップ 6 次の手順に従って、インスタント メッセージ/プレゼンス サービスの詳細情報を設定します。

a) [名前（Name）] フィールドにサービスの名前を入力します。
入力した名前は、プロファイルにサービスを追加する際に表示されます。入力する名前は必ず、一意的でわかりやすく、かつ意味が通じるものにしてください。

b) [ホスト名/IP アドレス（Host Name/IP Address）] フィールドに、CTI サービスのアドレスを入力します。

c) [ポート（Port）] フィールドに、CTI サービスに使用するポート番号を入力します。

ステップ 7 [保存（Save）] を選択します。

次の作業

サービス プロファイルに CTI サービスを追加します。

CTI サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager で CTI サービスを追加した後、クライアントがその設定を取得できるようにするために、その CTI サービスをサービス プロファイルに適用する必要があります。

はじめる前に

- まだ存在していないか、CTI 用に別のサービス プロファイルが必要な場合は、サービス プロファイルを作成します。
- CTI サービスを追加します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [ユーザ管理（User Management）]>[ユーザ設定（User Settings）]>[サービス プロファイル（Service Profile）] の順に選択します。
[サービス プロファイルの検索/一覧表示（Find and List Service Profiles）] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。
[サービス プロファイルの設定（Service Profile Configuration）] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [CTI プロファイル（CTI Profile）] セクションに移動して、次のドロップダウン リストから、サービスを 3 つまで選択します。

- プライマリ（Primary）
- セカンダリ（Secondary）
- ターシャリ（Tertiary）

ステップ 5 [保存（Save）] を選択します。